

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年4月分:速報)



＜対世界＞

○輸出総額: 9,243 億円(伸率: +12.2%) ⇒ 12か月連続のプラス

・順位: 7位、4月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(532か月、4月は45か月)による。以下同じ。】

・増加品目: 自動車(同+52.8%)、半導体等電子部品(同+20.6%)

○輸入総額: 9,291 億円(伸率: +7.2%) ⇒ 27か月連続のプラス

・順位: 12位、4月としては1位

・増加品目: 半導体等電子部品(同+92.3%)、石炭(同+21.0%)

○差引額: ▲48 億円(伸率: ▲88.9%) ⇒ 2か月ぶりの輸入超過

・順位: 289位、4月としては25位

為替レート: 2023年4月: 132.23円/ドル(2022年4月: 122.84円/ドルと比べ7.6%の円安)

＜品目別動向＞

○輸出

自動車(1,660 億円→2,536 億円、伸率: +52.8%)は、アメリカ(374 億円→825 億円、同2.2倍)及びEU(45 億円→282 億円、同6.2倍)向けが増加し、3か月連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(732 億円→883 億円、同+20.6%)は、ベトナム(94 億円→187 億円、同+98.7%)及び香港(151 億円→241 億円、同+59.6%)向けが増加し、15か月連続のプラスとなった。

一方、プラスチック(381 億円→284 億円、同▲25.3%)は、韓国(113 億円→62 億円、同▲45.4%)及び中国(136 億円→113 億円、同▲16.9%)向けが減少し、10か月連続のマイナスとなった。

○輸入

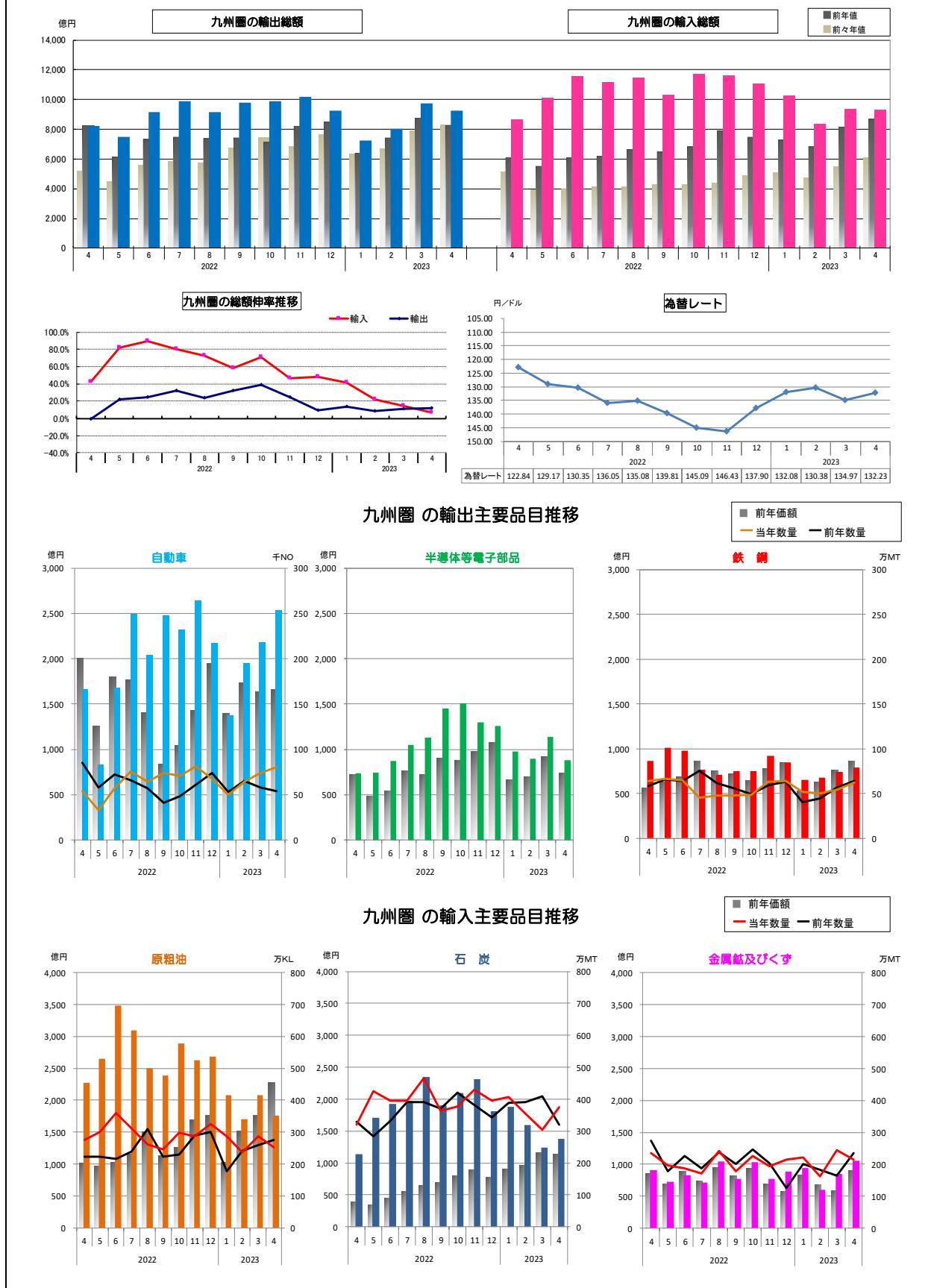
半導体等電子部品(340 億円→654 億円、伸率: +92.3%)は、台湾(266 億円→539 億円、同2.0倍)及びEU(8 億円→50 億円、同6.7倍)からが増加し、26か月連続のプラスとなった。

また、石炭(320 万MT→374 万MT、同+16.9%、1,139 億円→1,377 億円、同+21.0%)は、数量、価額ともに増加し、23か月連続のプラスとなった。

一方、原粗油(275 万KL→253 万KL、同▲8.1%、2,269 億円→1,754 億円、同▲22.7%)は、数量、価額ともに減少し、24か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令和5年4月分：速報



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。